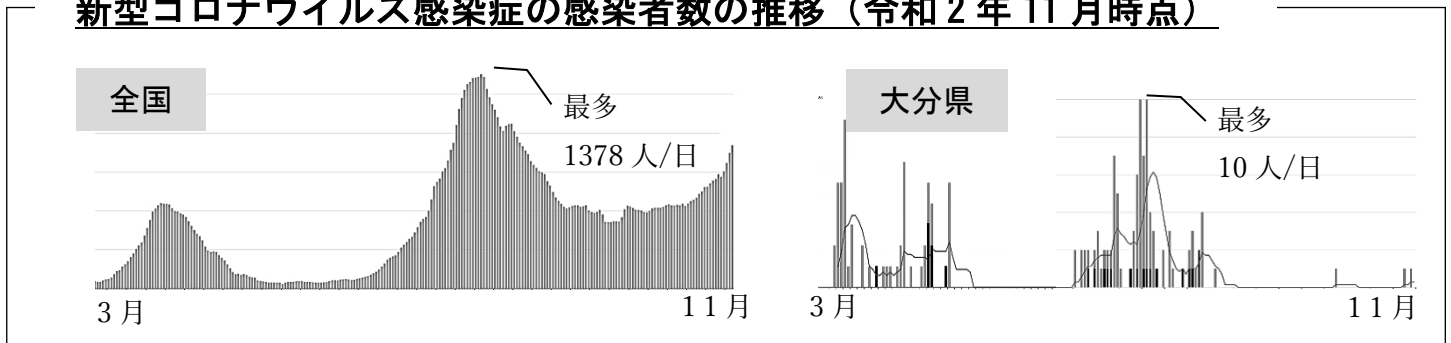


～新型コロナウイルス感染症対策～

ひとりひとりの力をあわせて、感染拡大防止にとりくみましょう！

新型コロナウイルス感染症の感染者数の推移（令和2年11月時点）



○新型コロナウイルス感染症に関する病院等受診の仕方について

いつもより高い熱が続く…、いつもより息が苦しい…、
そんな「あれ？ いつもとちょっと違うな？」と思ったときは
病院を受診する前に、まずは**電話**でご相談ください。



★かかりつけ医・最寄りの医療機関に電話

- ・病院受診時は、医療機関の指示に従ってください
- ・感染拡大防止のため、複数の医療機関のはしごは避けましょう
または

★受診相談センター（大分県）に電話

- ・大分県が運営している相談センターです
 - ・かかりつけ医がない、急に息が苦しくなった等、相談先に悩んだ場合にご利用ください
- TEL097-506-2755（24時間体制）**

○ひとりひとりができる感染拡大防止のための取り組み

Pick up **こまめな換気**

窓を開け、こまめな換気をしましょう
（目安：1時間に5～10分程度）

寒い冬だからこそ、
感染症予防には換気が
重要です。あわせて、
加湿を行うとウイルスの
感染力低下につながります。

**マスクの着用・
咳エチケット**

**3密（密集・密接・
密閉）を避ける**

**こまめな
手洗い・手指消毒**

**集会は
少人数・短時間で**

■ 感染リスクが高まる「5つの場面」



場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 狭い空間での長時間・大人数の滞在、回し飲みや箸などの共用は感染のリスクを高める。
- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍くなり、大きな声になりやすい。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 大人数の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなる。
- 長時間におよぶ飲食、例えば深夜のはしご酒では、昼間の通常の食事に比べて、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例がある。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 休憩時間など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での事例が確認されている。

感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫

★飲酒をするのであれば、

- ①少人数・短時間で、
- ②なるべく普段一緒にいる人と、
- ③深酒・はしご酒などはひかえ、適度な酒量で。

- ・ 箸やコップは使い回さず、一人ひとりで。
- ・ 座の配置は斜め向かいに。(正面や真横はなるべく避ける)
- ・ 適切な換気などの工夫をしている、ガイドラインを遵守したお店で。
- ・ 会話する時はなるべくマスク着用。
(フェイスシールド・マウスシールドはマスクに比べ効果が弱いことに留意が必要)
- ・ 体調が悪い人は参加しない。

忘年会の
季節
です！

厚生労働省
新型コロナウイルス
接触確認アプリ
(通称：COCOA)
を、インストールしよう！

iPhoneの方はこちら Androidの方はこちら



アプリの詳細はこちらへ

厚生労働省
ウェブサイト

